

身近な生きものマップ (ツバメの巣)

市民の方の協力により 91 件の報告をいただきました。

目的

みなさんに茅ヶ崎市内の現在の自然環境の状況を広く知っていただくために、身近な生きものの調査を企画いたしました。第1回はカマキリ調査・第2回はタンポポ調査を行いました。今回はツバメの巣調査を行いました。報告結果の閲覧も含め、少しでも多くの方が市内の自然や生物に目を向けていただければと思います。

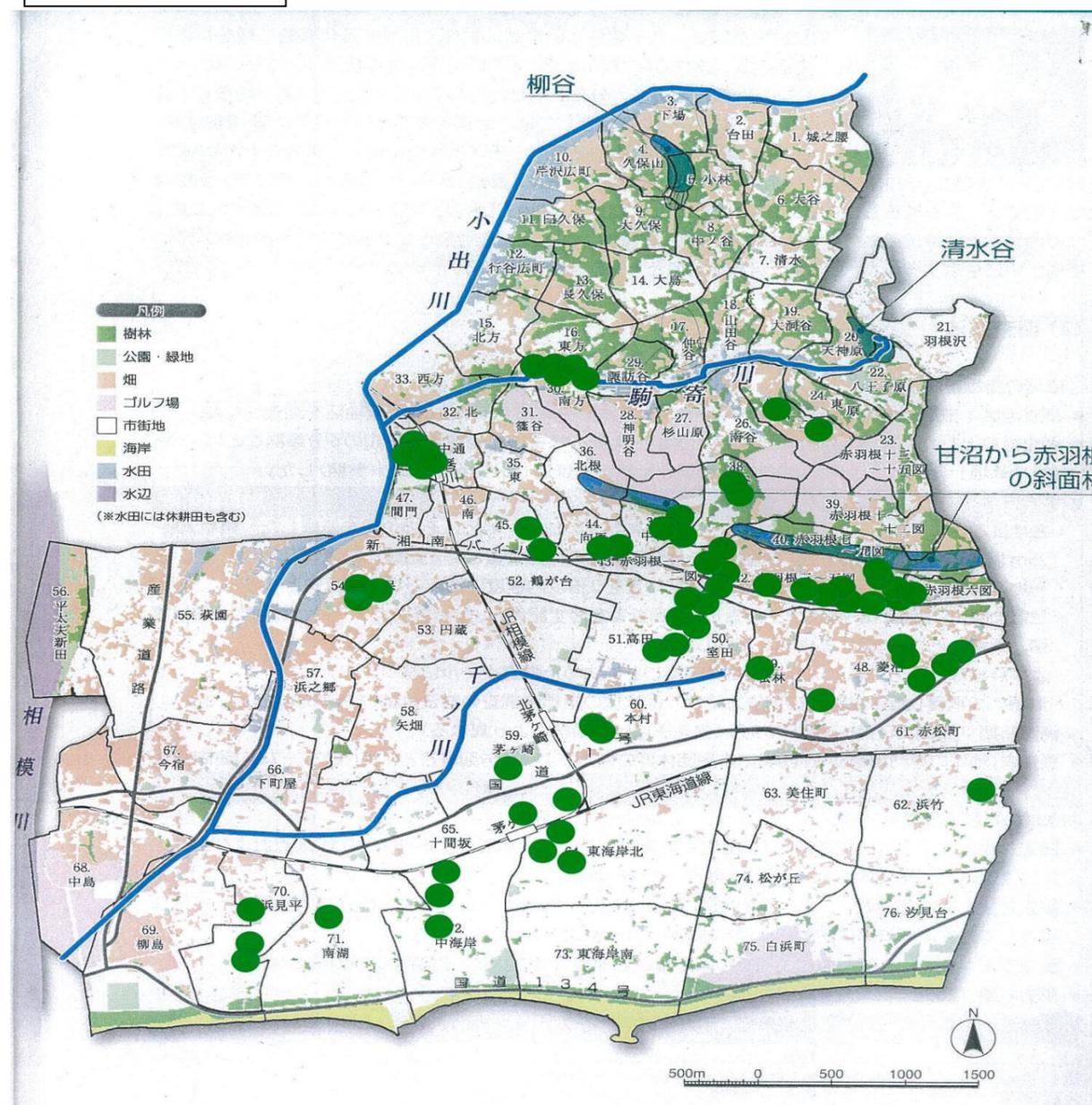
地区別集計結果

地域	ツバメの巣
赤羽根	17
甘沼	16
香川	11
小和田	2
幸町	3
松林	1
新栄町	1
高田	5
茅ヶ崎	1
堤	4
共恵	3
中海岸	1
南湖	2
西久保	3
浜竹	1
東海岸北	1
菱沼	4
本村	2
松風台	3
松尾	1
みずき	6
元町	1
柳島海岸	2
合計	91

見つけた巣の場所について

巣の場所	発見数
住宅	52
商店	21
工場	5
病院	3
車庫	3
駐車場	2
バイパスの下	2
ビル	1
公民館	1
体育館	1

調査結果マップ



まとめ (寫田 靖忠さん【駒寄川水と緑と風の会所属】)

今回の調査では91個のツバメの巣が見つかりました。

ツバメが巣をつくり、子育てをするには、巣を作る場所、巣材となる泥の取れる場所、エサとなる虫がいることが重要です。

ツバメの巣が比較的多く見つかった赤羽根、高田、堤、西久保、みずきの地区はツバメの巣材やエサの得やすい農耕地が残る地域です。市街地の住宅地、商店街で見られたのも、人の出入りの多い場所を好むツバメの特徴が良く現れています。

過去に見られたというデータが少なかったため、経年的な変化については何ともいえません。都市化が進むことで泥のある水田や水たまりが無くなり、緑の減少で虫も減っています。ツバメがそうした影響を受けているのかどうか、今後も見守ることが大切だと思います。